

ひろしまけん 交通指導員だより

2010.11
第8号

発行：広島県環境県民局
県民活動課
(交通安全対策室)

指導員だより第7号で取材しました、東広島市交通指導員 渡辺菊夫様が、平成22年度安全功労者内閣総理大臣表彰を受賞されました。
また、団体の部では、福山市加茂学区交通安全自治会が受賞されました。

☆交通指導員活動状況☆

10月5日 交通指導員研修会を開催！

10月5日、広島県庁講堂で交通指導員研修会を開催しました。

参加者は市町・安全協会所管の指導員さん総勢83名。研修会では、アケエリアス情報研究所 織田氏による話し方講座「日本交通安全教育普及協会 加藤氏による高齢ドライバー教育「あなたの運転チェックします」、府中町交通安全推進隊長 兼本氏による活動紹介等、参考となるような内容を実施しました。参加者のみなさんからは「交通安全について観点を変えて色々なお話が聞けて大変勉強になった。今後の指導に役立てたい。」など、好評をいただきました。

10月31日 高齢者交通安全指導員養成研修会を開催！

10月31日には、広島県自動車学校で高齢者交通安全指導員養成研修会を開催しました。参加者は広島市・廿日市市・大竹市・安芸郡4町のシルバリードライバーの方々30名。実車を使用した「右左折時の危険性や飛び出しの危険と停止距離」を確認したり、グループに分かれて模擬講習を実施するなど、地域での講習方法を学びました。

研修全体を通して、多くの受講者の方が「大変参考になった」と答えられ、実際に地域で実施してみたいという意欲的な回答もいただきました。

どちらの研修会でも参加・体験型の講習が、受講者の皆さんに好評でした。使用した教材は、安全協会等で貸出しますので、積極的に活用し、地域での指導にお役立てください。



10月5日に日本交通安全教育普及協会の講義で使用したDVD「あなたの運転チェックします」の貸出が出来ます。お申し込みは、県民活動課交通安全グループで受け付けています。
(TEL 082-513-2723)



(株)アケエリアス情報研究所
織田 直子氏

話し方のポイント

- ①明るく・堂々と・自信をもつ
- ②大事なことは3つにまとめて繰り返す
- ③参加をうながす(参加型話法)

交通安全教材

(第2回)

交通安全教室等で使用する簡単な教材等の作成方法と活用方法の紹介です。

ハンフリーマイクスタンド(てぶら君)

①準備するもの

- ・針金ハンガー
- ・ハンカチ又はタオル
- ・セロファンテープ又はカラーテープ

②作成要領

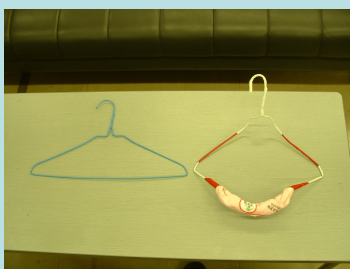
- ・針金ハンガーの上下部分をそれぞれ折り曲げる。
- ・針金ハンガー下部にハンカチ(又はタオル)を巻きつける。
- ・針金ハンガーにテープを巻き付け補強、飾りつけする。(写真参照)

③活用要領

マイクを使用している講習会・交通教室を行う場合マイクを片手に所持してしまうと、マイクを持っていない手のみで説明しなければならぬことが多々あります。

『てぶら君』は、両手を使い動作を交えた講話や説明を効果的に行うためのものです。
※ 簡単に作成できますので、是非作って活用してください

○ 作成状況



○ 使用状況



年末交通事故防止県民総ぐるみ運動

★実施期間

十二月十一日（土）～二十日（月）

★運動の基本

- 「高齢者の交通事故防止」
- 道路を渡る前には必ず周囲を確認しましょう。
- 高齢ドライバーに対しては、思いやりのある運転をしましょう。

★運動の重点

- 「飲酒運転の根絶」
- 酒を飲んだら絶対車を運転しない。
- 車を運転する人にはお酒を勧めない。

- 「全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底」
- 車に乗ったらシートベルトを着用しましょう。
- チャイルドシートは体格に合ったものを使用し、正しく着用しましょう。

- 「反射材等の活用による夕暮れ時や夜間の交通事故防止」
- 夕暮れ、夜間に出かけるときは反射材を着用しましょう。
- 自転車に乗る時はライトを点灯しましょう。



高齢者の交通事故を防ごう！
飲酒運転を根絶しよう！
反射材の活用で夜間の道を安全に！
シートベルトとチャイルドシート正しい着用で安全確保！

めざせ交通安全！
みんなが「ドライバー」！

平成22年
12月11日(土)～
12月20日(月)

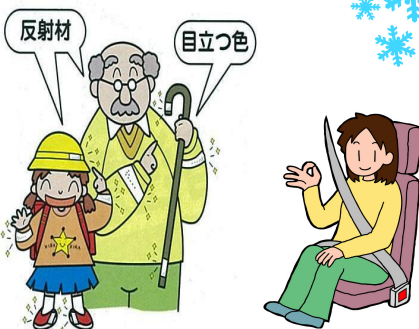
年末交通事故防止県民総ぐるみ運動
広島県 広島県警察 財団法人広島県交通安全協会・広島県交通安全活動推進センター

年末交通事故防止県民総ぐるみ運動 開始式及び飲酒運転根絶コンサート

12月10日(金) 午前11時30分から

広島駅南口地下広場（雨天決行）
警察音楽隊とJAFドレミ
ぐるーぶのコラボ演奏

「手を上げる 可愛い笑顔に 待つ笑顔」



自動車に乗ったら
必ずシートベルトを
着用しましょう！

非着用者の致死率は着用者の10倍！

- 非着用者の致死率は、着用者の0.2%にたいして10倍の2.0%
- 座席位置別に見ると、運転席は48.8倍、助手席は35.8倍、後部座席は3.0倍
(H21年 広島県警察調べ)

非着用死者の車外放出の割合は 着用者の約24倍！

- 車外放出になった場合の致死率は、全体が0.4%であるのに対して1.25倍の50.0%
- 死者のうち、シートベルト非着用者が車外放出されることとなった割合は、着用者の0%に対して23.8%
(H21年 広島県警察調べ)

シートベルト着用状況

- 後部座席同乗者～広島県は全国平均より低い！

■一般道 広島県	25.8%	全国	33.5%
■高速道 広島県	60.9%	全国	63.4%

(H21年 警察庁、JAF調べ)

※致死率は、死傷者に占める死者の割合

すべての座席でシートベルトを
着用しなければなりません。



後部座席でシートベルトを
着用せずに交通事故に遭った場合

- 自分自身の大きな被害
- 車外放出
- 前席同乗者への加害

などの危険性があります。

